

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡療育支援センターいちばん星志免 放課後等デイサービスいちばん星志免happiness		
○保護者評価実施期間	令和7年9月16日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	令和7年10月23日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	34.日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	日頃から保護者の皆様とお子さんの様子について情報交換を行い、発達状況や課題について共通理解を持てるよう努めている。	日々の情報交換に加え、定期的な面談や振り返りの機会を通して、発達の変化や課題を整理し、より深い共通理解に努めていく。
2	25.こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	絵カードやイラストを用いて、子供たちが理解した上で選択できるような環境を整えている。また、やりたいことを自分で選ぶ機会を多く設け、自己決定する力を育てている。	こどもの発達段階に応じた選択肢の提示方法を工夫するとともに、選んだ理由や気持ちを言葉や表情で受け止める関わりを大切にし、自己決定の力をさらに育てていく。
3	50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	定期的に避難訓練を実施している。また、様々なシチュエーションを想定して行い、その都度振り返りを行い、問題点があった場合には、対応策も一緒に検討している。	保護者を交えた訓練の回数を増やし、実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	32.放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	放課後児童クラブや児童館との交流との交流機会や、地域のこどもと一緒に活動する機会は設けられていない。	こどもたちが地域の中で関わりを持てるよう、関係機関との連携を大切にしながら、交流の機会づくりを考えていきたい。
2	35.家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	家族支援に関する研修への参加が十分にできておらず、ペアレントトレーニング等の取り組みには至っていない。	研修への参加を通して職員の知識向上を図り、情報提供や相談支援など、家族支援の充実につなげていく。
3	1.利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	限られたスペースの中で、整理整頓や配置の工夫は行っているが、十分な環境を確保することに難しさはある。	空間の使い分けや環境設定の見直しを行い、限られたスペースの中でも安全で落ち着いて過ごせる環境づくりに努めていく。